

事例紹介

MIZUHO

みずほ情報総研株式会社様

みずほ情報総研

開発スピードアップ・アジャイルなど
多様化する開発ニーズへの対応をめざす
～みずほ情報総研様は「DevaaS® 2.0」を導入～



みずほ情報総研様は、金融業界を中心にさまざまな業界向けのシステム開発を手がけています。システム開発におけるPoC (Proof of Concept: 概念実証) の増加など、開発ニーズの多様化やスピードアップに対応するため、NTTコムウェアの「SmartCloud DevaaS® 2.0」を導入。PoC実施環境として利用し、多様化する開発ニーズに柔軟かつスピーディーに対応しました。

導入効果 1

クラウドサービス利用で
開発のスピードアップ

導入効果 2

協働開発環境における
セキュリティの確保

導入効果 3

アジャイル開発環境の
共通化による生産性向上

AIやFinTechの登場で高まる「PoC」、「アジャイル」のニーズ



中村 和之 氏
みずほ情報総研株式会社
技術企画部 リードITエンジニア

みずほ情報総研様は、みずほフィナンシャルグループのIT戦略会社としてみずほフィナンシャルグループのITを支えています。あわせて、あらゆる業界のお客さまに安心していただける高い品質をめざし、コンサルティングからシステム開発・実装、保守・運用までトータルな提案を行い、さまざまなソリューションを展開しています。

同社がこれまで手がけてきたシステム開発では、初めにしっかりと要件を定義し、プロジェクト管理しながら開発を進め、実装・検証・納品するという流れが主流でした。しかし、ここ数年、システム開発に対するニーズが変化してきています。同社の技術企画部 リードITエンジニアの中村和之様は、「新技術へのお客さまの『感度』が上がり、AI(人工知能)やFinTechなどを活用して『こんなことができないか』と、新規事業創出に関連したPoC(Proof of Concept: 概念実証)のご相談を受ける機会が増えてきました」と語ります。

新しいユースケースでは、「どうしても知見やノウハウが少ないため、技術検証やコンセプト検証で確かめながら開発を進めていくことが大切になります。小さく作り、試して改善していくアジャイルな取り組みでお客さまと協働し、価値協創のパートナーとなることが、当社に求められていると感じていました」(中村様)

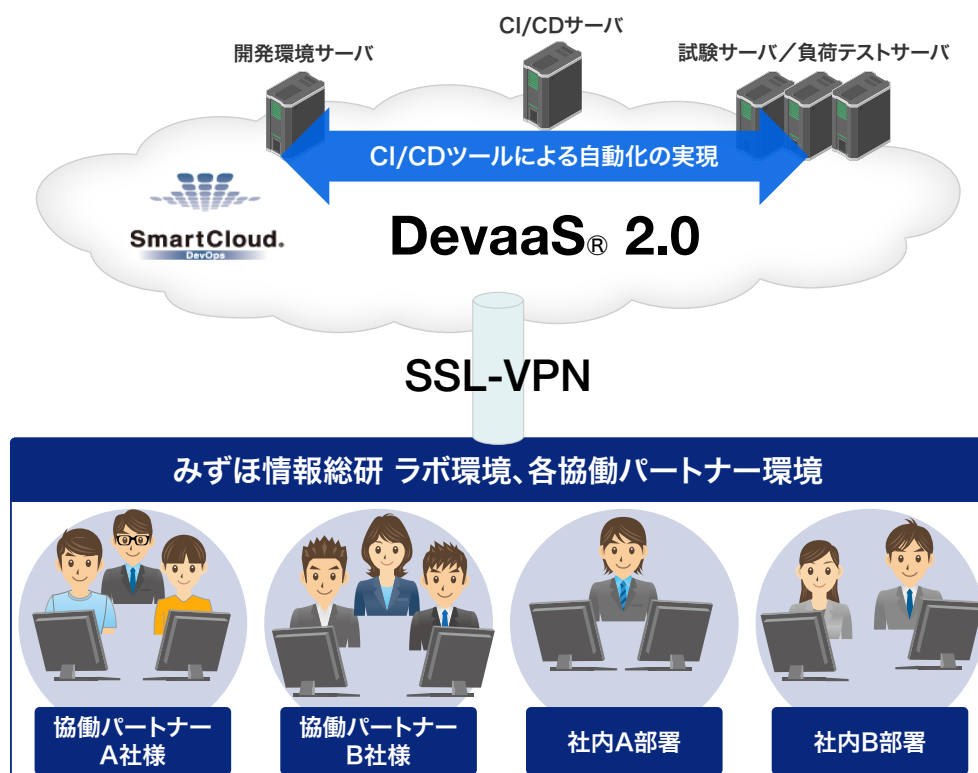
DevaaS® 2.0導入の決め手は「短期導入」、「協働利用」、「セキュリティー」

こうしたニーズの変化に対応するにあたって、同社では、システム開発に取り組む際の開発環境の構築や開発ツールの導入においても、改善点が浮き彫りになってきたといいます。「従来、開発環境の構築や開発ツールの導入は、案件担当者の判断に委ねられ、いわば『属人化』の傾向がありました。そのため、経験や知見をノウハウとして蓄積・共有できなかったのです」(中村様)

そこで、同社では、2018年1月にPoCの引き合いがあったことを契機に、アジャイル開発に対応でき、しかも、開発部門間で横断的に知見やノウハウを共有できる、新たなシステム開発環境の導入を検討。NTTコムウェアの「SmartCloud DevaaS® 2.0」を選定しました。DevaaS® 2.0は、システム開発で必要となるハードウェア、OS、ミドルウェア、そして開発ツール一式を提供するクラウドサービスです。

DevaaS® 2.0を活用したPoCのスクラムマスターでもある中村様は、選定ポイントとして、「早く導入できること」、「他社とも協働で使えること」、「セキュリティーが確保されていること」をあげています。「DevaaS® 2.0を導入することで、課題であった『属人化』は解消されます。また、クラウドサービスですぐに利用でき、セキュリティーもしっかり確保されています。開発ツールもポータルで提供されており、自分たちで細かい設定をする必要がないことも大きな魅力でした」(中村様)

図:みずほ情報総研様 PoC実施環境



開発着手のスピードアップとノウハウ蓄積を実現。「協働・協創の場」としても活用

同社では、実際にDevaaS[®] 2.0を活用して、どのような効果を感じていらっしゃるのでしょうか。中村様は、まず、「開発着手までのスピードアップを実感しています」と効果を示します。さらに、「これまでは、案件ごとに開発環境を構築し、ツールを導入していましたが、共有化されたことでコストも削減できました。また、ノウハウがどんどん蓄積されていく、つまり、使えば使うだけより強力な開発基盤になるというメリットもあります」(中村様)

もう一つ、DevaaS[®] 2.0の活用で、「お客さまと協働でシステム開発できるセキュアな環境を整備できた」ことも導入効果として感じているようです。「お客さまからも一緒に開発や検証を進めたいという要望がある中、DevaaS[®] 2.0なら開発環境に接続する際のセキュリティーも担保されています。これにより複数の企業との協働、協創の場としても活用できます」と評価しています。



企業の垣根を超えて。DevaaS[®] 2.0に期待

中村様は、「DevaaS[®] 2.0を利用中は、QA対応で迅速に対応いただき助かりました。基盤環境の提供のみの範囲にとどまらず、NTTコムウェアがこれまで培ってきた知見やノウハウを活かし、DevOpsの実現を後押しするコンサルティングや運用サポートをさらに充実させることで、サービスとしての魅力が高まるのではないかと思います。企業の垣根を超えて意見を出し合える関係性を構築していきたいですね」と語ります。

さらに、同社におけるDevaaS[®] 2.0の活用の可能性について、複数の第三者と検証する環境として利用するとともに、社内でも実験的に開発する場としての活用も想定されています。「社内で横断的に開発作業をしたいというニーズはあがってきています。実際、ひとつのPoCに対していろいろな部署が興味を持つので、複数の部署から参加して社内横断的なプロジェクトが組成されるケースや、パートナー会社が参加することも増えていくでしょう。DevaaS[®] 2.0の今後のさらなる活躍を期待します」(中村様)

システム開発に求められるニーズが多様化する中、同社の視線は「さらにその先」を見据えているようです。

担当者の声

みずほ情報総研株式会社様には本サービス企画の黎明期から忌憚りの無いご意見を頂戴し、企画の推進に大きくご協力をいただきました。

本サービスに限らず、今後ともさまざまな領域で協業パートナーとしてビジネスを拡大できればと考えております。引き続きよろしくお願いいたします。

NTTコムウェア株式会社
エンタープライズビジネス事業本部 スペシャリスト 菊池 祥弘
ネットワーククラウド事業本部 スペシャリスト 成田 賢太郎

お客さまプロフィール



みずほ情報総研

名称	: みずほ情報総研株式会社
本社所在地	: 〒101-8443 東京都千代田区神田錦町2-3
設立	: 2004年10月1日
事業概要	: コンサルティングの高い専門性と先端ITの融合により、 新たな価値を生み出し、お客さまに安全で革新的なサービス・ ソリューションを提供。
公式サイト	: https://www.mizuho-ir.co.jp/

※商品およびサービスの内容は、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※「SmartCloud(スマートクラウド)」、「SmartCloud」ロゴ、「DevaaS」は、NTTコムウェア株式会社の登録商標です。

※その他、記載されている社名、商品名などは、各社の商標または登録商標である場合があります。

※所属部署、役職等については、取材当時のものです。